

ダイジェスト版

目指せ、公認会計士！ ～会計なくして経済なし～

北海道稚内高等学校 商業科

2015年11月6日

公認会計士・監査審査会
常勤委員 廣本 敏郎

公認会計士の世界

3つのキーワード

I. 公認会計士とは？ ——“監査”及び“会計”の専門家

公認会計士の 使命

公認会計士は、国家試験である公認会計士試験に合格した者だけに与えられる資格であり、公認会計士法にその使命等が規定されています。

《公認会計士法第1条》

公認会計士は、監査及び会計の専門家として、独立した立場において、財務書類その他の財務に関する情報の信頼性を確保することにより、会社等の公正な事業活動、投資者及び債権者の保護を図り、もって国民経済の健全な発展に寄与することを使命とする。

会計なくして 経済なし

公認会計士は、グローバル化が急速に進む日本経済の健全な発展のために、監査人、コンサルタント、組織内会計士など、経済社会の様々な局面で、きわめて重要な役割を果たすべく幅広く活躍しています。

GLOBAL

金融・資本市場のグローバル化、企業の海外展開等に伴い、活動のフィールドは世界に広がっています。

グローバル経営戦略の策定
海外子会社を含むグループ決算

公認会計士
Certified Public Accountant (CPA)

PROFESSIONAL

監査・会計の専門家として、高度な専門知識を活かし、多様なニーズに応じて専門的な視点から助言・指導を行っています。

株式公開支援・M&A・組織再編

※このほか、税理士として登録を行うことにより、税務業務を行うことができます。

MISSION

資本市場の番人として、企業等の財務情報の信頼性を確保し、投資家等を保護しています。

企業が作成する決算書の検証

DVD 「転校生は公認会計士」

- DVD

約 1 8 分

- ブック 「転校生は公認会計士」

- 61頁の試験情報の一部を修正してください。

- 短答式試験の監査論と管理会計論は、
現在、それぞれ 6 0 分の試験時間で実施
しています。

会計なくして経済なし
市場経済を支える簿記会計

利益を測る技術の誕生

- 利益を測る技術としての「複式簿記」
 - いつ ⇒ 遅くとも1400年代に
 - どこで ⇒ 北イタリアで
 - 誰が ⇒ 地中海貿易に従事した商人たちが複式簿記を生み出した！

歴史上の証拠

数学者ルカ・パチョーリ(1445-1517)がヴェネツィアで1494年に出版した数学の教科書の中で利益測定技術(複式簿記)を解説

複式簿記の伝播と発展

- 1400年代
 - 北イタリアで誕生し、イタリア商人の活動によりヨーロッパ大陸各地へ伝播
- 1700年代
 - イギリスで製造業の会計（工業簿記、原価計算）が追加。ヨーロッパ人の移住によりアメリカへ伝播
- 1800年代
 - アメリカから日本に伝播

（桜井教授の夢ナビライブ
2012講義より）

明治における複式簿記の導入

- 複式簿記は、明治の文明開化によって、さまざまな文物とともに西洋から日本に導入された。
 - － 日本における西洋式簿記の導入は、
 - 明治6年6月、幕末明治の啓蒙思想家である福澤諭吉が、ブライアントとストラットンの共著書Book-keepingを翻訳して出版したことに始まる。

『帳合之法』の出版

- 福澤諭吉が後に記したところによれば、彼は「この原書を翻訳すれば大福帳の法に優ること万々なり」と信じ翻訳に着手。
 - － 本書は『帳合之法』（1873年）と称して出版され、当時、神戸商業講習所の教科書として、また、東京商法講習所夜間部の教科書として使用された。

人類の共有財産としての簿記会計

- ・ 商売をやってゆくのに、広い視野を与えてくれるのは、複式簿記による整理だ。整理されていればいつでも全体が見渡される。細かいことでまごまごする必要がなくなる。複式簿記が商人に与えてくれる利益は計り知れない。
 - － 複式簿記は、人間の精神が生んだ最高の発明の1つだね。立派な経営者であれば誰でも経営に複式簿記を取り入れるべきなんだ。

(ゲーテ『ヴィルヘルム・マイスターの修業時代』より)

人類の共有財産としての簿記会計（続）

- ・ 複式簿記抜きでは資本主義を考えることは到底できない。資本主義と複式簿記は互いに形式と内容のように振る舞うのである。
 - － 複式簿記の意義を余すところなく評価しようとするなら、16世紀以降の思想家たちが自然界の諸関係に関して整備してきた「知見」と対比してみる必要がある。複式簿記は、ガリレイやニュートンの体系、現代の物理や化学の学説と同じ精神から生まれたのである。

（ゾンバルト『近代資本主義』より）

会計なくして経済なし

金融・資本市場における公認会計士の役割

金融・資本市場の公正性・透明性の確保

- 適正な財務情報の開示について、作成者である企業経営者に一義的な責任があるものの、公認会計士監査の役割はきわめて重大である。

(金融庁長官・細溝清史「企業会計・監査をめぐる最近の動向」会計・監査ジャーナル、2015年4月号、2頁)

監査品質の向上と監査監督

- 公認会計士・監査審査会による監査法人に対する近時の検査においては、検査で不備等が発見された場合には、対象法人に有効な改善を促すために、当該不備の発生した監査法人における根本的な原因（root cause）の究明に重点を置いている。
 - － その結果、特に、中小の監査法人において、十分な監査リソースを有しないままに、新規の監査契約を積極的に受嘱することにより監査の品質管理のシステムに重大な不備が生じているなど、ビジネスモデルやガバナンスに根本的な原因があるケースが多く見られており、検査等においては、ビジネスモデル等の把握に努めている。（金融庁長官、前掲論文、3頁）

会計なくして経済なし
市場経済は利益至上主義の世界か？

アダム・スミスが描いた市場経済

- 経済の世界は、「自分自身の境遇を改善せんとする欲望」によって導かれている世界である…利己心というものが経済という世界の原動力である…
- (しかし) スミスによると、この利己心というものは、めいめいが何でも勝手放題なことをしてよろしいというのではなく、そこに一つの社会性がなければならないということになっている。

(高島善哉『アダム・スミス』岩波新書、1968年、76頁)

アダム・スミスが描いた市場経済（続）

- 利己心は正義の限界の中で発揮されなければならない、経済人の活動は全体として国家社会の繁栄に役立つようにあらねばならない。
- 経済の世界は、無法者の世界でもなければ、ただ手ばなしの自由放任の世界でもない。

（高島『アダム・スミス』 84頁）

会計なくして経済なし

超一流企業の経営と会計

京セラの経営と会計

- ・ 資本主義社会は、利益を得るためなら何をしてもいい社会ではない。
 - それは、参加者全員が社会的正義を必ず守るという前提に築かれた社会なのであり、厳しいモラルがあつてこそ初めて、正常に機能するシステムなのである。
 - 社会正義が尊重され透明性の高い社会が築かれてこそ、市場経済は社会の発展に貢献できるようになる。

(続く)

京セラの経営と会計（続）

- ・ そのためには、まず資本主義経済を支えている経営者が高い倫理観を持ち、すべての企業がフェアで公明正大な経営を実践していく必要がある。
 - － ところが残念なことに人間はつねに完全ではない。いくら立派なことを言っていても、誘惑にかられ、魔が差してしまうかもしれない。不正を犯してしまうかもしれないのである。このことは不祥事を起こした人々を調べればよくわかる。誰も最初から不正や犯罪を犯そうと思っていたわけではない。

（続く）

京セラの経営と会計（続）

- ・ この意味で、私は会計の果たす役割はきわめて大きいと考えている。
- ・ なぜなら、会計において万全を期した管理システムが構築されていれば、人をして不正を起こさせず、また万が一不正が発生しても、それを最小限のレベルにとどめることができるからである。

（稲盛和夫『実学—経営と会計』
日本経済新聞社、1998年、
161-162頁）

活躍する公認会計士

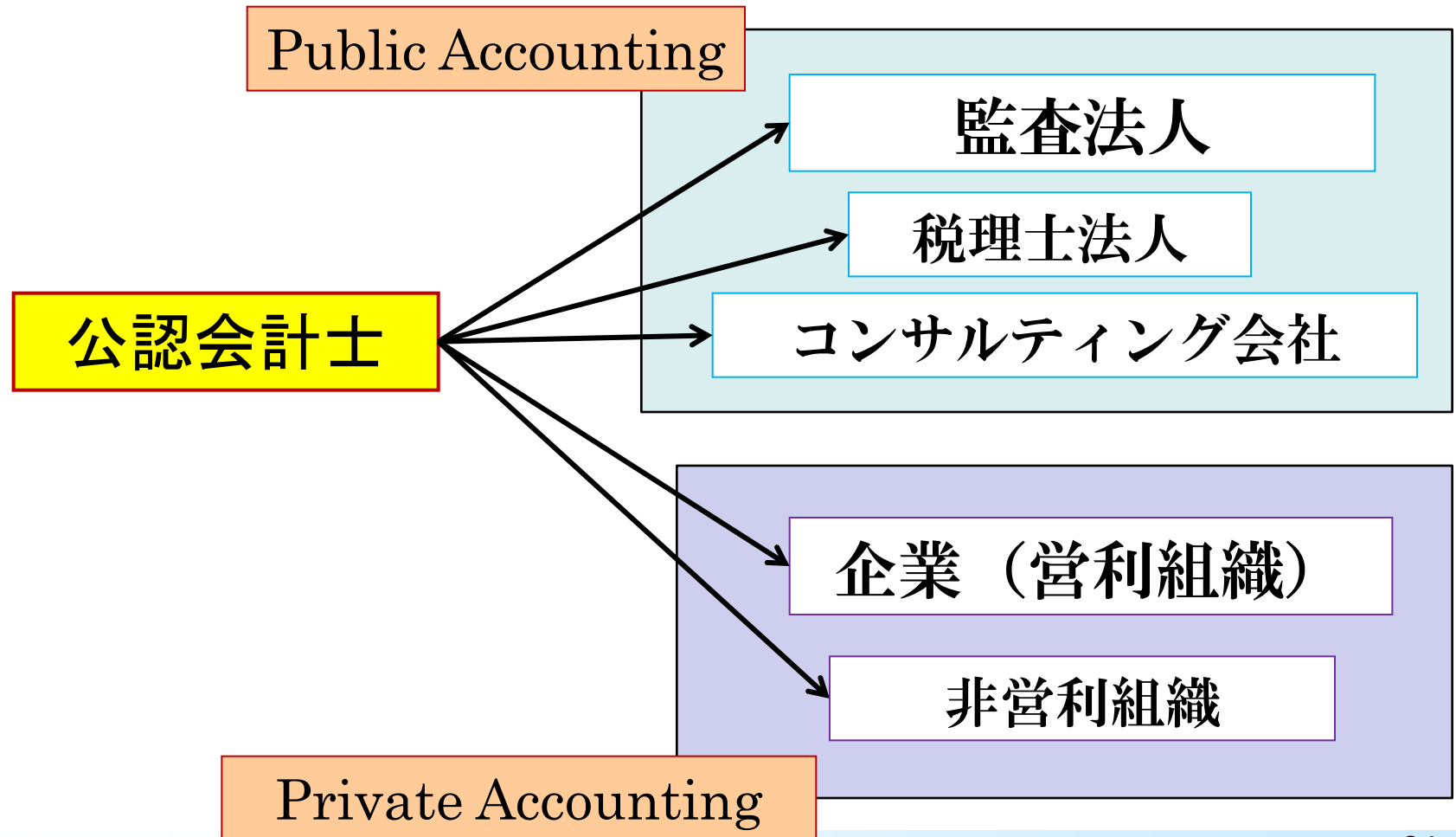
監査だけでなく経済社会で幅広く活躍

公認会計士・試験合格者の活躍フィールド



金 融 庁
日本公認会計士協会

公認会計士の活躍領域



**公認会計士は、皆さんの未来の
魅力ある選択肢の1つです。**

**自分が向かうべき将来に向かって
しっかりと地固めをして
悔いのない高校生活を送ってください。**

公認会計士・監査審査会 廣本敏郎